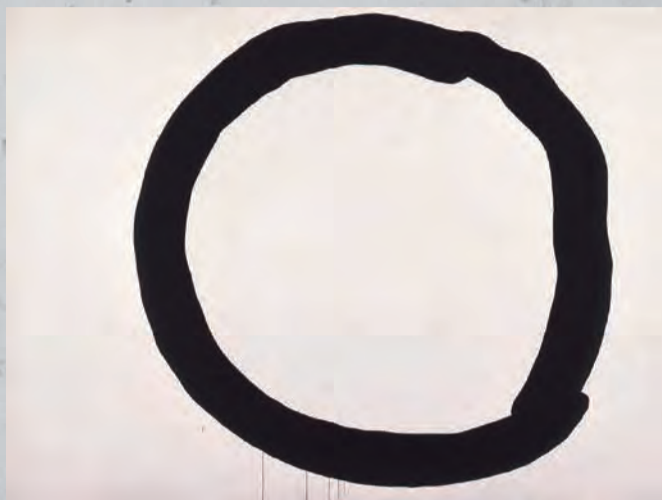


## 芦屋市立美術博物館所蔵「具体」メンバーの作品

「具体」は世界的に知られる美術運動のひとつとして現代美術に大きな影響を与え続けています。美術の常識にとらわれず、さまざまな手法で「具体」のメンバーは作品作りに挑みました。今回は美術博物館で所蔵する絵画作品の一部を紹介します。



吉原治良《白地に黒い円》1967年 塗料、布



白髪一雄《地煞星鎮三山》1961年 油彩、布



山崎つる子《作品》1964年 ラッカー、布



吉田稔郎《SEP.》1953年 板



村上三郎《作品》1957年 ミクストメディア、板 ©MURAKAMI Tomohiko

新しい表現、独創的・実験的な企画に挑戦し続けた「具体」の「人の真似をするな」「誰もやっていないことをやれ」という理念を胸に、皆さんも何か新しいことに挑戦してみたいはかがでしょうか。

## TOPICS

### 芦屋ルナ・ホール

成人式やさまざまなコンサートなどが行われる業平町にある「ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール」。このホワイエ(出入口とホール客席部分の間にある広間)の黒い床や壁、天井に一本の白い線が通っています。これは吉原治良が手掛けたことをご存じですか？

吉原はこのホールの愛称決定にも携わっていました。覚えやすい響き、ホールの中が宇宙空間に浮かぶ月を連想させるような黒とシルバーに包まれていることなどから、ラテン語で「月」を意味する「ルナ」を使用してルナ・ホールと命名されました。

※令和4年4月1日から令和9年3月31日までネーミングライツパートナーにより、ルナ・ホールの愛称は「ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール」となりました。



ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホールのホワイエ 撮影:2022年

### 「具体」の作品制作

彼らの作品制作は非常にユニークなものでした。足で描く、塗料を流す、おもちゃの電気自動車を走らせるといった手法の他に、絵の具を詰めたピンを画面に叩きつける、大きな紙を走って突き破るといったものまであり、「人の真似をするな、今までにないものをつくれ」というコンセプトを体現していたことがうかがえます。



村上三郎(通称)1956年 第2回具体美術展(小原会館・東京) ©MURAKAMI Tomohiko 画像提供:大阪中之島美術館 / DNPartcom



大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画

### すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合

- 会期 10月22日(土) ~ 令和5年1月9日(月・祝)
- 会場 大阪中之島美術館・国立国際美術館

- ・本展は大阪中之島美術館、国立国際美術館の2会場で開催します
- ・それぞれの観覧料、開館時間、休館日は一部異なりますのでご注意ください



大阪中之島美術館